別 記

様式第1号（第8条、第9条、第12条関係）

事業者行動（計画・変更計画・報告）書

2024年　9月　20日

（宛先）
滋賀県知事

提出者
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）
滋賀県東近江市小川町1385

氏名（法人にあっては、名称および代表者の氏名）
株式会社ホーマーコーポレーション
代表取締役　関　哲也

滋賀県CO_2ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例
第25条第3項→~~第25条第4項~~
第27条第1項→~~第27条第2項において準用する同条例~~
第26条第1項
~~第27条第2項において準用する同条例第26条第1項~~

~~第25条第4項~~ の規定に基づき、~~事業者行動計画を~~ 策定 ~~（変更）~~ ~~事業者行動報告書を作成~~ したので、提出します。

事業者の氏名（法人にあっては、名称および代表者の氏名）	株式会社ホーマーコーポレーション　代表取締役　関　哲也
事業者の住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）	滋賀県東近江市小川町1385

1　事業所の概要

事業所の名称	株式会社ホーマーコーポレーション　滋賀工場							
事業所の所在地	滋賀県東近江市小川町1385							
主たる事業	日本標準産業分類細分類番号	1	0	1	1	※ 産業分類・細分類名称を記載 清涼飲料製造業		
事業の概要	清涼飲料水の製造							
従業員の数	37　人			操業時間	8～21　時間／日			
該当する事業者の要件	☑ 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500㎘/ｯﾄﾙ以上の事業所を県内に有する事業者							
	☐ 従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者							
	☐ 任意提出事業者							
主要な設備	ボイラ	2　台		熱源設備	台	照明設備	240　台	
	コンプレッサ	3　台		空気調和設備	台	その他	ブロワー1台	

2　計画期間（および報告対象年度）

計画期間	開始年度	令和4　年度	報告対象年度	令和5　年度
	終了年度	令和8　年度		

3　計画の（内容・実施状況）

計画の（内容・実施状況）	別添のとおり

注　用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

標準様式第1号・標準様式第2号

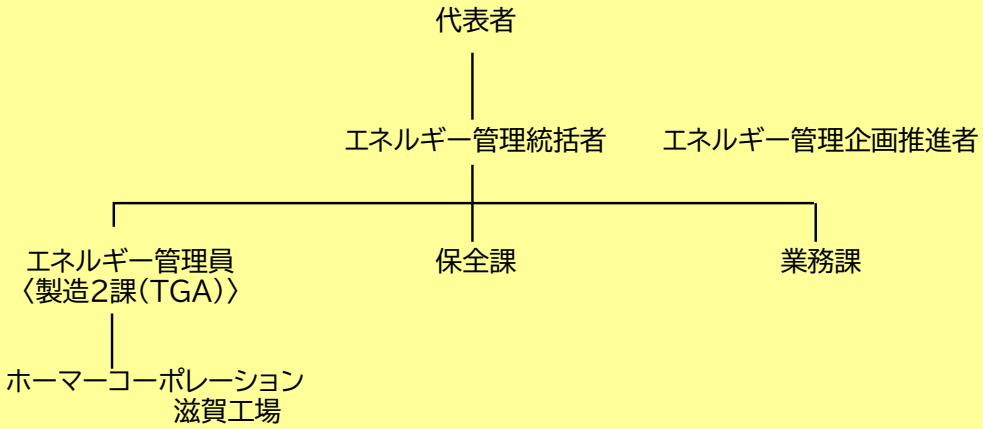
（第1面）

1 CO_2ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

私たち「株式会社ホーマーコーポレーション」は、UCCグループの一員としてUCCの掲げるサステナビリティビジョンの一つ「2040年までにカーボンニュートラルの実現」という目標の実現に向け、以下の3つのカテゴリーから温室効果ガス削減対策の検討を進めていきます。

①事業者自らによる温室効果ガスの直接排出
②他社から供給された電気等の使用に伴う間接排出
③事業者の活動に関連する他社の間接排出

2 取組の推進体制



3 これまでに取り組んできたCO_2ネットゼロ社会づくりに係る取組

・使用していない場所の照明設備は消灯する
・使用頻度の低い場所の照明をセンサーライトに切り替える
・使用していない事務機器は省電力モードまたは電源をOFFにし、必要時に電源を入れる
・会社全体のペーパーレス化を進め、紙の使用量を減らす
・事務所に電力計量器を設置し、電機の使用量を把握するとともに、電機の使用状況を常に意識する

4　自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO_2排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	設備導入	各ラインの断熱強化	R4～R8	継続実施中
2	設備導入	高効率ランプへの更新	R4～R8	更新完了
3				
4				
5				

(2) エネルギー起源CO_2以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
上記の取組や製造の効率化などにより、令和3年度を基準とし、以下の 数値目標の達成を目指します。 原単位「エネルギー使用量(原油換算)／生産数量(千本)」で 原油換算kl年間1%削減	【令和5年度】 原単位令和3年度比100．2% 原単位前年比97.8% 昨年新設した生産ラインが効率良く稼働するようになったため、前年度よりは良くなったが、さらに生産数量が落ち込んでしまったため令和3年度比は目標未達となってしまった。

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

		計画開始年度前年度の実績	実績報告				
			（ R4 ）年度	（ R5 ）年度	（　）年度	（　）年度	（　）年度
原油換算エネルギー使用量	kL	1,814	1,614	1,495			
温室効果ガス総排出量	t-CO_2	3,198	2,687	2,599			
エネルギー起源CO_2	t-CO_2	3,198	2,687	2,599			
非エネルギー起源CO_2	t-CO_2						
CH_4	t-CO_2						
N_2O	t-CO_2						
HFCs	t-CO_2						
PFCs	t-CO_2						
SF_6	t-CO_2						
NF_3	t-CO_2						
エネルギー等原単位の推移		0.0487	0.0499	0.0488			

備考　「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

（1）再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1			
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	
2	
3	
4	
5	

（2）所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他（　　）	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

（3）再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

		計画開始年度前年度の実績	実績報告				
			（　）年度	（　）年度	（　）年度	（　）年度	（　）年度
再エネ電気設備での発電量	kWh						
上記のうち自家消費量	kWh						